

良い循環を
つくる。

エコツリー

エコムつうしん 71号 -12月号-

71



岐阜

●ここが知りたい！エコムちゃん

「木育」

●ロバのあしあと：ドイツデリカテッセン「クリンゲン」

「エコツリー」は、地域から地球まで、持続可能な社会を考えるコミュニティペーパーです。





ここが知りたい!
エコムちゃん

学ぶ

遊ぶ

働く

木育

mokuiku



食べることは生活の基本だから、
そこをきちんとやろうねというのが、「食育」だね。

それでは、「木育」って、聞いたことがあるかな？

日本は森林大国なので、建物は木材で造るのが基本だった。
ところが、近年の効率ばかりを求める生活により
木材があまり使われなくなったため、
木を活かす日本独自の文化が失われようとしている。

「木育」というのは、「木を育てよう」ではなくて、
「木の良さがわかる子どもたちを育てよう」ということなんだ。

無垢の木の触り心地や癒し効果とか、
林業と環境の関わりとか、
さらには、資源としての可能性であるとか、
幅広い分野と関わりながら、地道な取り組みになっている。

ちなみに、岐阜県は森林の占める面積割合が約8割と、
全国で2番目に高いエリア。
「ぎふ木育」と名付け、地域の魅力として発信しているよ。

ウッドスタート

赤ちゃんの誕生祝として、地元の職人が地元の木で作ったおもちゃ(ファースト・トイ)をプレゼントするなど、子育てに木の力を活用する取り組み。感性豊かな乳幼児期に、香り、さわり心地、味わいなど五感に程よい刺激を与えようというもの。また、この活動を通して、若いママ・パパを木のファンにすることに努めています。学習機の購入や一軒家を建てたりする子育て時期、親たちが木に親近感を持つことが、国産材消費量拡大にもつながります。





東京おもちゃ美術館に行ってみたよ！木のおもちゃで遊べる人気のスポットなんだ。



東京おもちゃ美術館

東京都心にあるのに、木がいっぱいの美術館だよ。運営しているのは、認定NPO法人芸術と遊び創造協会。「人間が初めて出会う芸術は、おもちゃである」そんな楽しいメッセージを掲げていて、館内には遊び心があふれている。木のおもちゃや遊具が充実しているだけでなく、内装にも東京都多摩産など日本各地の杉を活用。乳幼児から大人まで、親子で木に触れながら、ゆったりと過ごすことができるんだ。



副館長の星野太郎さんにご案内いただいたよ。



都市環境に住む人にとっては、木は暮らしに自然を取り入れるための手段であるとも言えそう。



いま、秋田、東京、岐阜、山口、沖縄など、全国6ヶ所にこうした施設をつくらうとしています。その際に気を付けているのは、地場の木を使ったり、地元の作家さんにお声をかけをしたり、その地域の資源をできるだけ活用する動きにしていきたいことです。岐阜の施設では、外観も内観も岐阜県材をふんだんに使用する予定だと聞いています。楽しみですね。



東京おもちゃ美術館
お問合せ先：認定NPO 法人芸術と遊び創造協会
TEL：03-5367-9601

岐阜県にも、木のおもちゃをテーマとしたすてきな美術館ができるよ！



岐阜は木育先進県！

「ぞふ木育」に取り組む岐阜県。岐阜県美術館敷地内の福祉友愛プール跡地に、東京おもちゃ美術館が全面監修した「木のふわあい館(仮称)」が建設される計画が進行しているよ。森林県らしく、地元の針葉樹、広葉樹を多用したり、県内の林業家に柱を一本ずつ寄付してもらおうなどのプランがあるとのこと。どんな施設になるか、とっても楽しみだね。



ロバの あしあと

岐阜城下でドイツを味わう。 それが意外に合うんです。

城下町の小さなデリカテッセン。これがこのお店のキャッチフレーズです。この辺りは、特徴的なお店が多いエリアなのですが、クリンゲンは、他にはないドイツの香りを選んでくれます。デリカテッセンとは、ドイツ語で「美味しいもの屋さん」という意味なのだそう。ドイツ製法を習得した野村吉央さんがつくるハム・ソーセージは、おいしいと評判だそうで、テイクアウト品やドイツビールも揃っています。



豚肉は、岐阜の豊かな自然にはぐまれたという新鮮なチルド肉を使用。



オーナーの野村吉央さん

地元素材をドイツ流に活用

本場の技を習得するために、ドイツの食肉マイスターの資格を持つ小島豊氏の元で5年間修行しました。ハムやソーセージづくりに使う燻製用のスモーク材も、ドイツに習って、フナを使っているのですが、それら岐阜産のフナ材を使用しています。岐阜は自然が豊かなので、それらの素材を利用しない手はないと考えています。



木の風合いを大事にするなど、店舗づくりの際には外観にもこだわった。看板は岐阜市景観賞。



見慣れない名前の商品が並ぶ。ハム・ソーセージ好きにはたまらない。

information

ドイツデリカテッセン
クリンゲン

岐阜市西材木町 2 6

058-263-0506

10:30 ~ 19:00 (火休)



「ロバのパン」は、移動販売のパン屋さん。昔懐かしい移動販売車で、岐阜市を中心に半径約1時間以内の地域を巡回しています(他の地域への訪問もあり)。本コーナー「ロバのあしあと」は、販売エリアの魅力スポットをエコツー独自の視点で紹介しています。



71

発行：エコムカワムラ株式会社

岐阜県安八郡輪之内町里 85 番地の 3

TEL 0584-68-2033 (代)

制作：いしいデザイン mail@ishii-design.info



「エコツー」Facebook

<https://www.facebook.com/ecotsuu/>

